

2024年度メインオークション募集要綱に関する 意見募集の結果について

(対象実需給年度:2028年度)

2024年7月30日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

※本検討会は、資源エネルギー庁と電力広域的運営推進機関の共同事務局により開催している。

1. はじめに
2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果について
3. 主な意見内容と対応
4. 今後の予定について

- 今年度を開催を予定するメインオークションに向けて、容量市場**メインオークション募集要綱**（対象実需給年度:2028年度）と、**容量確保契約約款**の案について**意見募集**を行った。（実施期間：2024年7月3日～7月17日）
- 本日は、意見募集の**結果についてご報告**する。

■ 容量市場メインオークション募集要綱（対象実需給年度:2028年度）と容量確保契約約款の2点を対象として、意見募集を実施した。

関連文書等		概要	公表状況
容量市場 関連文書	容量市場 募集要綱 ※1※2	容量市場メインオークション 募集要綱	・ メインオークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定 2024～27年度向け：公表済
		容量市場追加オークション 募集要綱	・ 追加オークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定 2024～25年度向け：公表済
		長期脱炭素電源オークション 募集要綱	・ 長期脱炭素電源オークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定 2023年度応札：公表済
	容量確保 契約書 ※1※3	容量確保契約約款	・ メインオークションおよび追加オークションにおける容量提供事業者に求められる要件、容量確保契約金額その他の契約条件を規定 公表済
		長期脱炭素電源オークション 容量確保契約約款	・ 長期脱炭素電源オークションにおける容量提供事業者に求められる要件、容量確保契約金額その他の契約条件を規定 公表済
	容量市場 業務マニュアル ※1※2	メインオークションの参加登録・ 応札・容量確保契約書の締結編	・ 参加登録申請の手順、提出書類等について記載 ・ メインオークションの応札情報の登録から、容量確保契約書の締結までについて記載 2024～27年度向け：公表済
		実需給前に実施すべき業務（全般）編	・ 余力活用契約・給電申合書等の締結、電源等情報の追加登録等について記載
		電源等差替編	・ 電源等差替の手順、提出書類等について記載
		実効性テスト編	・ 電源等リストの登録・実効性テストの手順、提出書類等について記載
		容量停止計画の調整業務編	・ 容量停止計画の提出・作業調整手順等について記載
		実需給期間中 リクワイアメント 対応(安定電源)(変動電源(単独)) (変動電源(アグリ))(発動指令電源)編	・ 算定諸元（容量停止計画、発電計画・発電上限等）の登録・アセスメント結果の確認等について記載
		実需給期間中 ペナルティ・ 容量確保契約金額対応編	・ ペナルティ・容量確保契約金額、支払通知書・請求書の確認手続等について記載
		容量拠出金対応編	・ 容量拠出金（仮算定含む）、還元額、追加請求額の確認手続き等について記載
			2024年度向け：公表済

※1：初回策定や大きな変更時は意見募集を行います ※2：対象実需給年度毎に公表します ※3：対象実需給年度に依らず共通です

関連文書等		概要		公表状況
容量市場 関連文書	容量市場 業務マニュアル ※1※2	追加オークションの参加登録編	・ 参加登録申請の手順、提出書類等について記載	2024～25年度向け：公表済
		追加オークションへの応札・ 容量確保契約書の締結編	・ 追加オークションの応札情報の登録から、容量確保契約書の締結までについて記載	
		長期脱炭素電源オークション 参加登録・応札・契約締結編	・ 長期脱炭素電源オークションの参加登録や応札等について記載、等	2023年度応札：公表済
		その他は必要に応じ発行予定		必要に応じ公表予定
	容量市場 システム マニュアル※3	事業者情報・電源等情報登録 期待容量登録・応札・契約 電源等差替・実効性テスト ・容量停止計画編	・ 容量市場システムのログイン方法や入力方法、画面等、操作方法等について記載	公表済

※1：初回策定や大きな変更時は意見募集を行います ※2：対象実需給年度毎に公表します ※3：対象実需給年度に依らず共通です

- 募集要綱や約款の案には、これまでに本検討会や国の審議会で検討を行った内容を反映している。

2. 本オークション募集要綱案および約款案の主なポイント 主な反映事項	4
主な反映事項	反映箇所 募集要綱<上段> 約款<下段>
① ノンファーム型接続が適用される電源の扱い ▶ 2024年度メインオークションにおいて、 <u>ノンファーム型接続が適用される電源は参加可能</u> とするとの国の審議会での整理を踏まえ、募集対象とする。	なし (昨年度も参加可能と整理) —
② 調整力設備量の把握 ▶ 中長期的な調整力の確保について、容量市場において状況把握するため、オークションの参加登録業務の一部に組みこむこととし、安定電源を対象に帳票を作成・提出を必要とする。	参加登録時の電源等情報の登録情報として、新たな様式の提出が必要となる旨を追記 (第4章3(5)) —
③ 非効率石炭火力に関する稼働抑制リクワイアメントと平常時の市場応札のリクワイアメントの関係について ▶ 非効率石炭火力は年間設備利用率を50%に抑制するリクワイアメントがある一方で、平常時には卸取引所等への市場入札を求めるリクワイアメントがあるため、関連する国の審議会の整理の方向性に沿って、市場応札量を減少できる場合について記載する。	非効率石炭火力については、年間の設備利用率を踏まえた「供給計画・発電販売計画等の事前の運転計画に沿う場合」に市場応札量を減少できることとする旨を追記 (第3章17(2)) 同上
④ 発動指令電源の取り扱い ▶ 約定処理において、発動指令電源の同一価格札について、実効性達成率に応じた落札電源の決定を行う仕組みを今後適用（今後実施される実効性テスト以降のオークション以降）するにあたり、今後の実効性テスト結果やリスト未提出等を考慮する。	なし (約定処理へ適用は次回以降であるため) 実効性テストに関する条項に、実効性テスト後の達成率が以降のオークションにおいて考慮される旨を追記（第3章16③）

第56回容量
市場の在り方
等に関する検
討会資料より

2. 募集要綱・約款に関する意見募集の結果について 意見の提出状況

- 意見募集に対して、**計41件（11者）の意見**提出があった。
（募集要綱：27件（9者）、約款：14件（7者））
- 前年度から**変更した点**に関しては、以下の2点に関する内容の意見や質問があった。
 - ・発動指令電源の実効性達成率に応じた優先約定
 - ・非効率石炭の市場応札リクワイアメント
- **既存の仕組み**について、意見や質問が多かった項目は以下のとおり。
 - ・低予備率時のリクワイアメント
 - ・発動指令電源の実効性テスト 等
- 提出意見のうち、**①前回から変更点に対する意見、②今後検討を要するもの、③意見を受けて要綱・約款を修正するもの**についてそれぞれ整理するとともに、**④その他多かった意見で代表的なもの**を含めて紹介する。（次ページ以降）

3. 主な意見内容と対応（①前年度から変更した内容について）

意見内容：発動指令電源の実効性達成率に応じた優先約定

- 実効性達成率に応じた優先約定の仕組みについて、**適用時期に関する確認・意見**があった。
- 適用時期は、**来年度以降のメインオークションで適用**する方向で議論がなされており。今年度は適用しないことについて**事業者向け説明会資料等でも周知**を図っていく。

項目	意見内容(抄)・回答案	
発動指令電源の実効性達成率の扱い	「約定処理において発動指令電源の同一価格札について、実効性達成率に応じた落札電源の決定を行う仕組みを今後適用」が追加されたが、補足資料等で「2025年度メインオークションから適用される」との記載があり、 2024年度メインオークションの落札電源の決定時は、前回2023年度に実施した実効性テストは考慮されないとの認識 で合っているか。	
	回答案	ご認識のとおりです。

項目	意見内容(抄)・回答案	
発動指令電源の実効性達成率の扱い	この仕組みを 2025年度のメインオークションから適用 することについて、 オークション実施済の電源の達成率を参照 することになることから、 遡りで当該文言を反映させることは問題 ではないか。	
	回答案 ※ 1	本制度では、オークション時点の契約容量をもとに、実需給において 供給力の提供を求められることを踏まえて応札されていることが前提 となります。優先約定の仕組みは供給力の提供に向けたリクワイアメントとして求められている事項を用いるものになります。

※ 1：2025年度からの適用を懸念する意見は一部あったものの、当該懸念点および事業者アンケート結果（ランダム約定の回避ニーズが多かった等）も踏まえて第56回本検討会で議論を行ったことから、当該検討会での整理（2025年度以降で適用する方向）とする。

2. 発動指令電源の優先約定の条件（上限超過時の同一価格札）
（5）適用のタイミング

8

第56回容量
市場の在り方
等に関する検
討会資料より

- 適用のタイミングについては、この仕組みは発動指令電源の実効性を高める効果を期待していることを踏まえると、早い段階で適用することが望ましいと考えられる。
- 今後行われる実効性テストとしては、対象実需給年度2026年度分について**2024年度夏季・冬季を予定**しており、その結果が確定した後、**最短で翌年度のメインオークションの約定処理から適用が可能**となる。
- ついては、**2025年度のメインオークションの約定処理から適用**してはどうか。
(なお、2024年度メインオークションにおいても、将来の実効性達成率に影響するため、応札容量の枠取り防止の効果は期待できると考えられる)

【適用のタイミングのイメージ】

対象 実需給年度	業務実施 年度		2024年度		2025年度 (2025年度メインオークション)
	2023年度 (2024年度実効性テスト)				
2026年度	2月末 電源等リスト の登録	7月～9月 実効性テスト (夏季)	12月～2月 実効性テスト (冬季)	市場退出量 の確認	
2029年度 (2025年度メインオークション)				実効性達成 率を考慮	10月頃（仮） 約定処理

3. 主な意見内容と対応（①今回反映した内容について）

意見内容：非効率石炭の市場応札リクワイアメント

- 非効率石炭の市場応札リクワイアメントについて、アセスメント方法についての確認があった。
- 事前の運転計画が状況変化に応じて修正されることもあることを踏まえて、市場応札のアセスメントにおいて内容確認する旨を回答する。

項目		意見内容(抄)・回答案
非効率石炭の市場応札リクワイアメント		<u>市場応札量を制限できる条件</u> として、「供給計画・発電販売計画等の <u>事前に運転計画に沿っている場合</u> 」とあるが、実需給断面の運転は相対通告量の変動や卸電力市場への販売量、余力活用契約による一般送配電事業者からの指令等により、年間時点の <u>計画通りの利用率とならないが</u> 、事前の運転計画に沿っていることを <u>どのように確認するのか</u> 。
	回答案	稼働実績に応じて、稼働抑制のリクワイアメントを達成するべく、 <u>事前の運転計画は状況変化に応じて修正されることもあることを踏まえ</u> 、市場応札のアセスメントの中で、必要に応じて <u>運転計画策定状況について確認</u> させていただきます。

3. 主な意見内容と対応（②今後検討を要するもの）

意見内容：市場入札・供給指示のペナルティレート

- 市場入札・供給指示のペナルティレート（Z=30時間）について、今年度の低予備率アセスメント対象（予備率8%以下）の発生頻度を踏まえて見直すべき等の意見があった。
- 本件については、特定のエリアの期中の実績によらず、レートの設定として全国の年間の状況も念頭に検討する必要があることから、今年度のオークションにおいては従来どおりとしてはどうか。
- なお、予備力計上の在り方は国の審議会においても議論中であり、2024年度以降の予備力計上と通知の実態を踏まえたリクワイアメントの在り方について、遡及的な対応の可能性も含め、国と連携して検討する。

項目		意見内容(抄)・回答案
低予備率アセスメント対象コマ		発電余力の卸電力取引所等への入札および電気の供給指示の <u>ペナルティレートZ時間</u> について、東京エリアは既に140コマ（70時間）が予備率8%以下となる低予備率アセスメント対象コマとなり、Z時間= <u>年間30時間と乖離</u> した状況にある。 Z時間は <u>ペナルティに対して大きな影響を与える係数</u> のため、Z時間を2024年4月以降の <u>実績を考慮した値へ見直す</u> べきではないか。
		ペナルティレートは「1年間で低予備率アセスメント対象コマに該当すると想定される時間であり、本オークションにおいては30時間」とあるが、実需給期間中に <u>30時間を超えた場合の取り決め</u> を記載してはどうか。
	回答案	ペナルティレートは <u>契約条件としてオークション前に設定</u> されているものであること、特定のエリアの期中の実績によらず、レートの設定として <u>全国の年間の状況も念頭に検討する必要</u> があることから、今年度オークションにおいては、 <u>従来同様の設定（Z=30）</u> と致します。ただし、頂いたご意見は、国と連携しながら検討を行ってまいります。

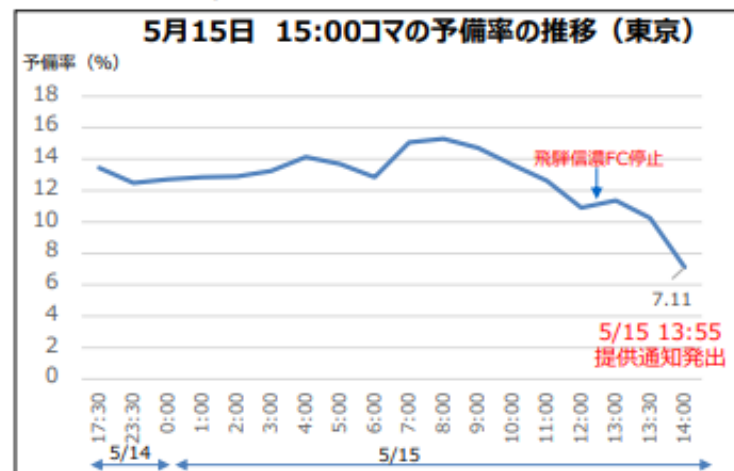
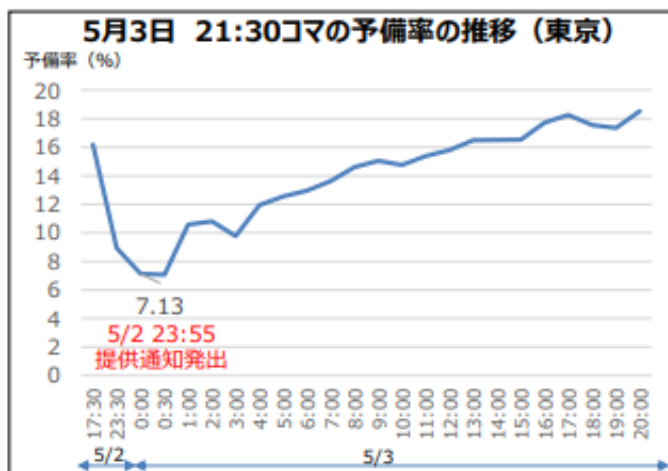
- 2024年度の供給力提供通知の発出状況を踏まえ、予備率の変動要因等について、引き続き確認検討することとされている。

供給力提供通知の発出の背景（実需給前日17:30以降）

- 供給力提供通知は、4月・5月において、計15回発出されているが、いずれも、翌日の広域予備率公表時点（実需給前日の18:00）よりも後の時間帯に発出されたものであった。
- 具体的には、（P7に記載のとおり）実需給前日から当日にかけての深夜に発出されているケース（5月2日）の他、実需給の約1時間前に発出されるケース（5月15日）も存在しており、時間帯を問わずに発出されていた。
- これは、翌日の広域予備率公表後も、需要や再エネ予測の変動、BGの計画変更等によって、需要・供給力ともに変化することが要因と考えられるが、予備率の変動要因等については、引き続き確認を行う。

第77回電力
ガス基本政策
小委員会資
料より

【提供通知が発出された特定のコマの予備率の推移】
（前日17:30～実需給1時間前まで）



※上記グラフの横軸は予備率に変化があった時間帯のみ抽出している

（出典）電力広域的運営推進機関提供資料を基に資源エネルギー庁作成

- 落札電源および約定価格の決定方法について、本検討会で整理した事項について**反映しきれていなかった部分について指摘する意見**があった。ご指摘を踏まえて、募集要綱を修正する。
- その他誤字等についてご指摘のあった点も合わせて修正する。

項目	意見内容(抄)・回答案	
落札電源および約定価格の決定方法	第56回 容量市場の在り方等に関する検討会において示された、 約定処理において加算する供給力 に関して、今回のメインオークションより、 長期脱炭素電源オークションの契約容量が加わる こととなっているが、募集要綱案へ記載されていない。	
	回答案	ご指摘を踏まえて、下線箇所を追記いたします。 ※1 FIT電源の期待容量、追加オークションで調達を予定している供給力（H3需要比で各エリアへ分配）、容量市場外で一定の蓋然性がある供給力として国の審議会で整理された控除量（以下「容量市場外の見込み供給力控除量」という）、 長期脱炭素電源オークションの契約容量のうち実需給年度2028年度に制度適用となる契約容量 および本機関の業務規程第33条の規定に基づく電源入札制度を活用した電源等の期待容量の合計（以下「FIT電源等の期待容量等」という）を含む。

3. 主な意見内容と対応（③意見を受けて要綱・約款を修正するもの）

14

募集要綱の修正箇所（約定処理において加算する供給力）

【募集要綱】 第6章 落札電源および約定価格の決定方法

【募集要綱】

<変更前>

1. 落札電源の決定方法

（１）以下の手順にて落札電源を決定します。

（略）

ウ 各エリアの調達量（※1）から、各エリアの停電の発生頻度、継続時間、発生範囲によって表現される電力供給の信頼性（以下「供給信頼度」という）をシミュレーションにより確認します。需要曲線と供給曲線の交点における供給力をもとに設定した供給信頼度（以下「全国の供給信頼度」という）に対して供給力が不足しているエリア（ブロック※2）がある場合には、当該エリア（ブロック）の市場が分断され、別途約定処理を行います。（詳細は以下（２）を参照）

※1 FIT電源の期待容量、追加オークションで調達を予定している供給力（H3需要比で各エリアへ分配）、容量市場外で一定の蓋然性がある供給力として国の審議会で整理された控除量（以下「容量市場外の見込み供給力控除量」という）および本機関の業務規程第33条の規定に基づく電源入札制度を活用した電源等の期待容量の合計（以下「FIT電源等の期待容量等」という）を含む。

（略）

【募集要綱】

<変更後>

1. 落札電源の決定方法

（１）以下の手順にて落札電源を決定します。

（略）

ウ 各エリアの調達量（※1）から、各エリアの停電の発生頻度、継続時間、発生範囲によって表現される電力供給の信頼性（以下「供給信頼度」という）をシミュレーションにより確認します。需要曲線と供給曲線の交点における供給力をもとに設定した供給信頼度（以下「全国の供給信頼度」という）に対して供給力が不足しているエリア（ブロック※2）がある場合には、当該エリア（ブロック）の市場が分断され、別途約定処理を行います。（詳細は以下（２）を参照）

※1 FIT電源の期待容量、追加オークションで調達を予定している供給力（H3需要比で各エリアへ分配）、容量市場外で一定の蓋然性がある供給力として国の審議会で整理された控除量（以下「容量市場外の見込み供給力控除量」という）、**長期脱炭素電源オークションの契約容量のうち実需給年度2028年度に制度適用となる契約容量**および本機関の業務規程第33条の規定に基づく電源入札制度を活用した電源等の期待容量の合計（以下「FIT電源等の期待容量等」という）を含む。

（略）

3. 主な意見内容と対応（③意見を受けて要綱・約款を修正するもの）

募集要綱の反映例（期待容量の登録）

【募集要綱】 第4章 参加登録

【募集要綱】

＜変更前＞

4. 期待容量の登録

(略)

(2) 期待容量は以下のとおり算定し、登録してください。なお、供給計画に計上する見込みがある電源が登録可能です。（電源等の所有者が発電事業者に該当しない場合等を除く）

容量を提供する電源等の区分	期待容量の算定方法
安定電源	期待容量等算定諸元一覧（様式3）の記載要領に基づき算定します。発電方式の区分や本要綱に記載がない事項については電力需給バランスに係る需要及び供給力計上ガイドラインを参照ください。

(略)



【募集要綱】

＜変更後＞

4. 期待容量の登録

(略)

(2) 期待容量は以下のとおり算定し、登録してください。なお、供給計画に計上する見込みがある電源が登録可能です。（電源等の所有者が発電事業者に該当しない場合等を除く）

容量を提供する電源等の区分	期待容量の算定方法
安定電源	期待容量等算定諸元一覧（ 様式2 ）の記載要領に基づき算定します。発電方式の区分や本要綱に記載がない事項については電力需給バランスに係る需要及び供給力計上ガイドラインを参照ください。

(略)

3. 主な意見内容と対応（③意見を受けて要綱・約款を修正するもの）

募集要綱の反映例（市場退出時の経済的ペナルティ）

16

【募集要綱】 第7章 契約条件

【募集要綱】

<変更前>

2. 市場退出

(略)

イ 市場退出時の経済的ペナルティの調整

(ア) 追加オークション終了後、本オークションおよび追加オークションの実施有無ならびに結果に応じて、上記アに定める市場退出時の経済的ペナルティを支払った容量提供事業者に対し、一部または全額の返金を行うことにより、市場退出時の経済的ペナルティの調整が行われます。

(略)



【募集要綱】

<変更後>

2. 市場退出

(略)

イ 市場退出時の経済的ペナルティの調整

(ア) 追加オークション終了後、本オークションおよび追加オークションの実施有無ならびに結果に応じて、上記 **アー(ア)** に定める市場退出時の経済的ペナルティを支払った容量提供事業者に対し、一部または全額の返金を行うことにより、市場退出時の経済的ペナルティの調整が行われます。

(略)

3. 主な意見内容と対応（④その他多かった意見で代表的なもの）

17

意見内容：実効性テストに関する内容

- その他多かった意見で代表的なものとして、**実効性テストの運用に関する意見**があった。
- いずれも運用における緩和の要望であるが、**現行ルールとした背景・経緯から現行通りの対応とする旨を回答**し、今後の検討の参考とする。

項目	意見内容(抄)・回答案	
実効性テスト	実効性テストを省略することができる実績結果として、需給調整市場の応動実績を含めていただきたい。	
	回答案	需給調整市場の応動実績を代替可能とすることは、実効性テストの実施回数や実施条件等の テスト条件の公平性の観点で慎重な判断が必要 と考えます。頂いたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
実効性テスト	再テスト希望の場合、調整に時間を要するため、 連絡期限を1週間後から2週間後へ見直し いただきたい。	
	回答案	実効性テストの期間が限られている中で、 再テスト実施に係る準備の都合を踏まえ 、再テストを希望する場合の連絡期限を 1週間として設定 しています。
実効性テスト	需給調整市場に基づく調整力指令に応じた日について、過去のDR実施日（発動指令の発動日、電源I'発動日）に含め、容量市場の実発動および実効性テストにおける発動実績のベースライン算定において 除外日とする 取り扱いとしていただけないか。	
	回答案	ベースラインからの除外日は、ひっ迫した状況において発動されたものという条件に限定したものととなります。平時に調整力として活用されるといった 異なる条件下での発動分の除外日適用には慎重な判断が必要 と考えます。頂いたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。

4. 今後の予定について

メインオークションの応札に向けた流れ

- 2024年度メインオークションは、このあと8月よりオークション参加に向けた事業者情報や電源等情報の登録の開始を予定している。
- すでに、事業者向け説明会を開始しており、応札に関する資料等も広域機関HPで提供を行っている。
- オークションの応札期間は10月を予定している。

本日



- 6月 : 本検討会での募集要綱案、需要曲線案の提示
- 7月 : 募集要綱案に関する意見募集実施
- : メインオークションに関する事業者向けの説明会実施
- 7月30日 : **本検討会で意見募集の結果について報告**
- 7月31日（予定） : **募集要綱の策定・公表、需要曲線の公表**
- : ～引き続き、各事業者による応札準備～
- 8～9月 : **参加登録**（事業者情報、電源等情報、期待容量）
- 10月15～25日 : **応札期間**
- 12月頃（予定） : 約定結果の公表

※具体的な詳細スケジュールは後述

4. 今後の予定について

メインオークションの需要曲線について

19

- 2024年度メインオークションの需要曲線は、6月の本検討会において原案を示しており、国の審議会において審議が行われた。これらを踏まえてこのあと公表を予定している。

4. 2024年度メインオークションにおける需要曲線の前案

③需要曲線の前案（需要曲線と約定処理において加算する供給力）

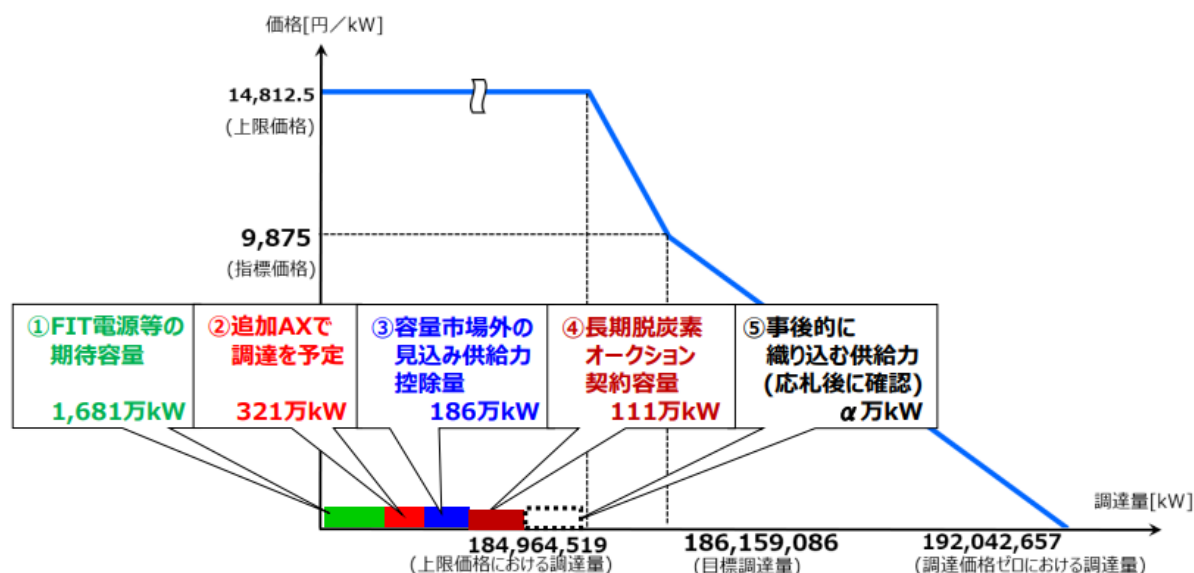
21

第56回容量
市場の在り方
等に関する検
討会資料より

- 2024年度メインオークション（対象実需給年度：2028年度）における需要曲線の前案と約定処理において加算する供給力の関係は下図のとおりとなる。

- 目標調達量 : 1億8,616万kW
- 約定処理において加算する供給力 : 2,299万kW (①～④) + α (⑤※)

※オークションで落札していない石炭とバイオマスの混焼を行うFIT電源等の供給力確認のうえ、事後的に織り込む
(参考) 2023年度メインオークション：652万kW、2022年度メインオークション：632万kW



4. 今後の予定について

メインオークションの詳細スケジュール

20

■ 2024年度メインオークションの応札に向けた年間スケジュールは、以下を予定している。

2024年度												2025年度	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月

関連
文書
・
説明会
等

【募集要綱】



▲容量市場メインオークション募集要綱公表 7月31日（予定）

▲需要曲線公表 7月31日（予定）

【業務マニュアル】

（参加登録・応札・契約締結編）

▲業務マニュアル公表 7月31日（予定）

【事業者向け説明等】

▲制度説明会 **【実施済み】** 7月9日

▲参加登録等実務説明会 8月1日（予定）

事業者情報の登録

8月2日～8月8日

電源等情報の登録

8月2日～8月23日

参加
登録

電源等情報の登録支援

【実施済み】 6月26日～7月17日

期待容量の登録

9月9日～9月20日

石炭火力電源の効率確認について▲

（WEBサイトのお知らせ）

【公表済】 7月12日

応札

・
約定結果
公表

応札の受付

10月15日～10月25日

▲約定結果の公表

12月頃（予定）

応札容量算定に用いた期待容量等算定諸元一覧の登録受付

10月28日～11月1日

契約書
締結

容量確保契約書締結の手続

約定結果公表日～2025年3月頃

▲容量確保契約の

結果公表

2025年4月頃

その他

▲調整係数の公表 8月（予定）

※発動指令電源の調整係数については参考値の公表となります。